

## マルメ研修感想文

ホワイト歯科 遠藤純聡

印象に残ったのはスウェーデンの医療制度と哲学でした。

「リスクに基づくキャビテーションシステム」は患者さんがメンテナンス移行時にリスクの高低によって医療費が変わるシステムということでした。この医療制度下では患者さんが自分の口腔の健康を向上させる様に行動すると医療費も安くなる、結果として良好な口腔状態が保たれ、国全体の医療費も削減できる。医療システムが国民の健康を後押ししてくれていると感じました。人間が健康であり続ける、ということは基本的な欲求であり金銭では買えないものですがお金が安くなるということは健康なるきっかけになりそうです。しかしこの制度の根底にあるのは「国民の健康を守りたい」という国の為政者、医療者として当たり前の考えだと思います。

比べてみると日本の医療システムは相変わらずの疾病給付、患者は疾患に掛かったら医療機関を受診する。医療者は疾患を止める給付が無いから悪くなったら治療する。結果として国民の健康は維持できず医療費は上がり続けるという悪循環が出来上がっています。

社会保障純債務 1500 兆円という途方も無い借金を抱える日本で我々歯科医療者はどう行動すべきか。スウェーデンで医療改革が成果を収めたということは日本でも同じような制度を導入できれば国民の健康は向上し医療費も削減できるということになります。これを受けてまず自分の出来ることは、クリニックに来ている患者さんの口腔健康が守れるようリスクアセスメントを行う。エビデンスに基づく治療とメンテナンスを行う。国の制度はすぐには変わらないですが現法令制度下で患者さんのためにできることはないか、と考えると自分の力が及ぶ市など地域単位での活動、学童への働きかけなどが思い浮かびます。少し考えてみると、もしかしてこれは OP セミナーで熊谷先生に教わったことではないか、と気が付きました。セミナーで示唆されて情報も頂いておりましたが今回の研修で改めて OP 医院の価値、役割、責任というものを強く感じております。

研修に行く前は一度行けば十分かなと思っていましたが、帰国した後は自分が歯科医師としてステージが進んだ状態でまた訪れたら別の収穫があるのではないかと思います、いつかまた研修に参加したいと思います。

素晴らしい研修を用意していただきありがとうございました。